

瀬戸大橋線 快速列車の乗務員室のドアが開いた状態で運転した件について

2021年4月26日、瀬戸大橋線 茶屋町～児島駅間にて乗務員室のドアが開いた状態で運転した事象が発生しました。ご利用のお客様に大変なご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

1 発見日時

2021年4月26日（月） 午後6時00分

2 場 所

瀬戸大橋線 茶屋町～児島駅間

3 列 車

快速 マリンライナー51号 岡山（17：42）発～高松（18：41）行 5両編成

4 概 況

4月26日（月）午後6時00分頃、快速列車が茶屋町（17：57発）～児島（18：06発）間を走行中に、お客様から車掌に対し「乗務員室のドアが開いている」との申告を受け、確認したところ、前から3両目の進行方向左側（東側）のドアが開いていたため、閉扉し施錠しました。

※お客様にお怪我等はございませんでした。

※列車の運行に影響はありませんでした。

なお、お客様の乗務員室への立ち入りの有無は現在調査中です。

5 原 因

乗務員室のドアの施錠（専用鍵を使用してロック）ができていなかったためです。

※解錠の時期は現在調査中です。

6 対 策

関係社員に対し、乗務員室のドアを扱った際の確実な確認を徹底します。